

アングルと血脇の交流

The Father of Orthodontics

東京歯科大学の建学者



Edward.Hartley. Angle



血脇 守之助

大正9年(1920年)頃の Los Angeles



野澤 茂(22歳)

大正5年(1916年) 東京歯科医学校卒業(18歳)

神戸で臨床に従事した後、

渡米、ロスのドクトル渡辺のオフィスで働くと手紙に...

大正11年(1922年) 血脇守之助先生との出会い



東京歯科大学ご提供

欧米の視察旅行中(6ヶ月間)の血脇日本歯科医師会会長が、
当時ロスに留学中の歯科医数名を昼食に招待した。

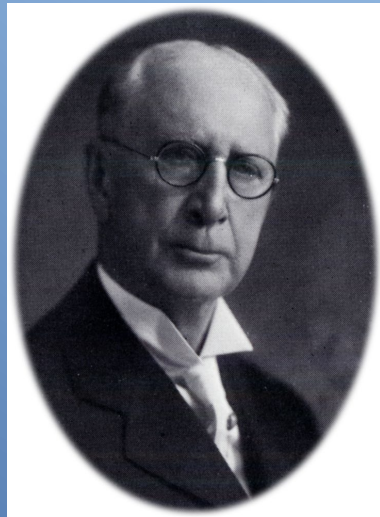
右から2人目:血脇守之助会長、4人目:野澤 茂

2008年 9月16日

松本茂暉 伝
アンゲル矯正学校への挑戦！

2011年11月2日

アンゲルの弟子
松本茂暉(野澤茂)・伝



Edward H. Angle (71歳)



野澤 茂 (22歳)

大正15年(1926年)

アングルスクール最後の卒業生(パサデナにて)

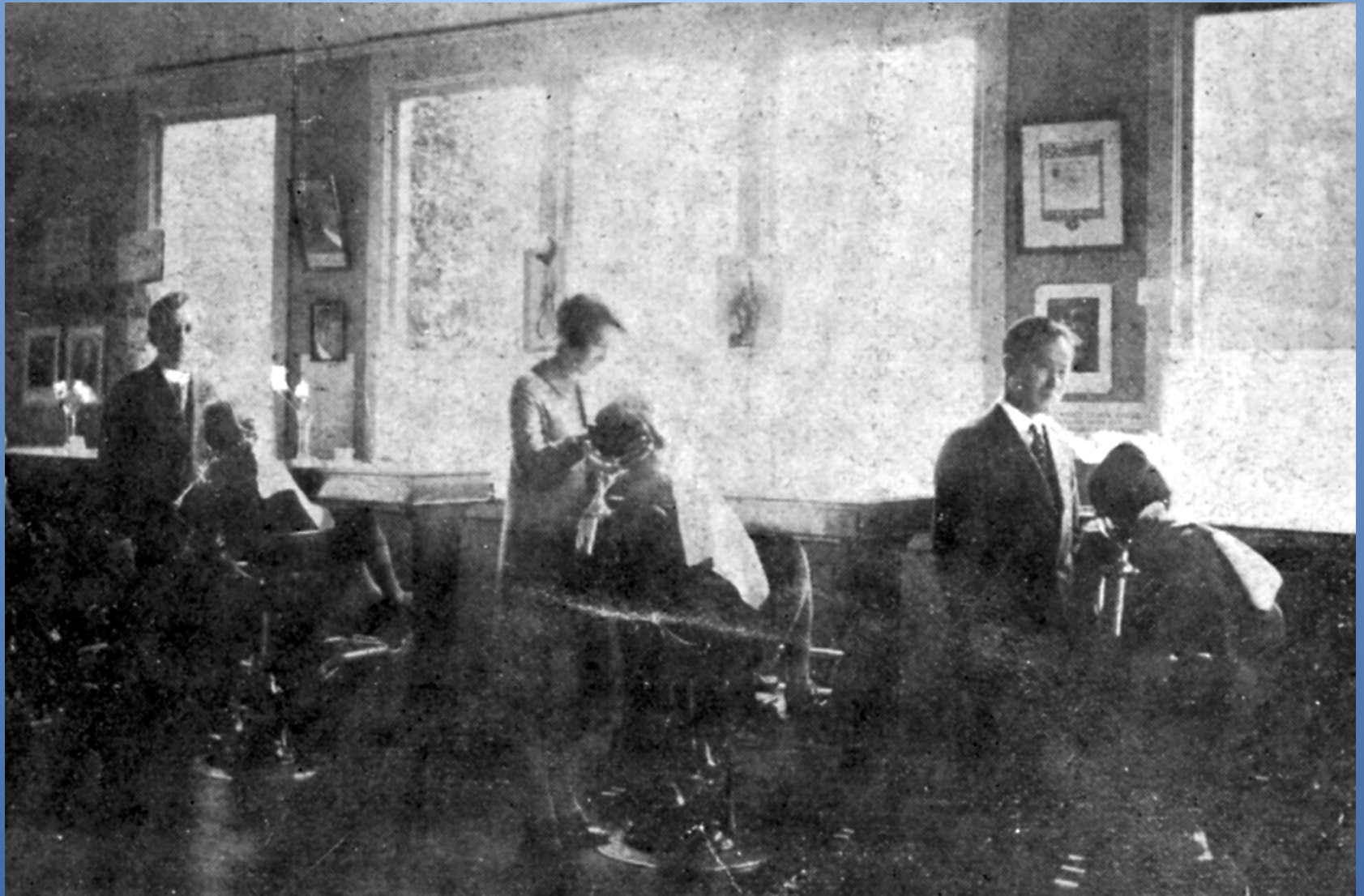


前列左から2番目: Brodie、右端: 松本茂(野澤茂)

匆匆たる教師陣

後列左から3番目: Angle、Oppenheim、Noyes

アングル学校の診療室(1926年頃)

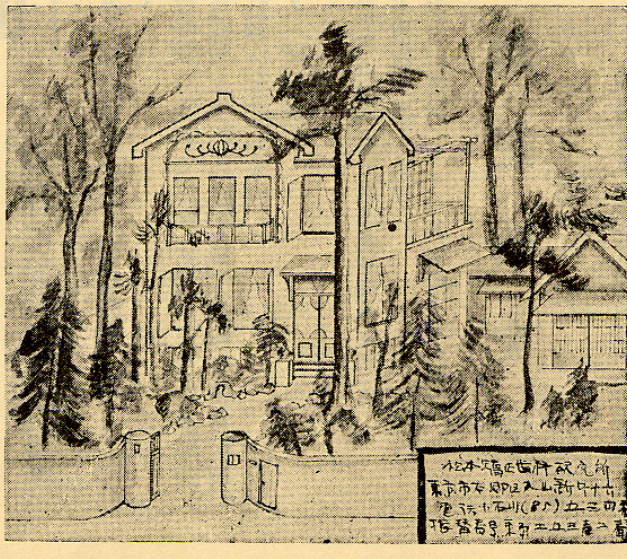


右端：松本 茂

昭和2年(1927年) 帰国後、日本赤十字社中央病院歯科に勤務。
(矯正歯科を担当)

昭和4年(1929年) アンゲル先生との約束を守り、
矯正歯科専門開業。

松本矯正歯科研究所



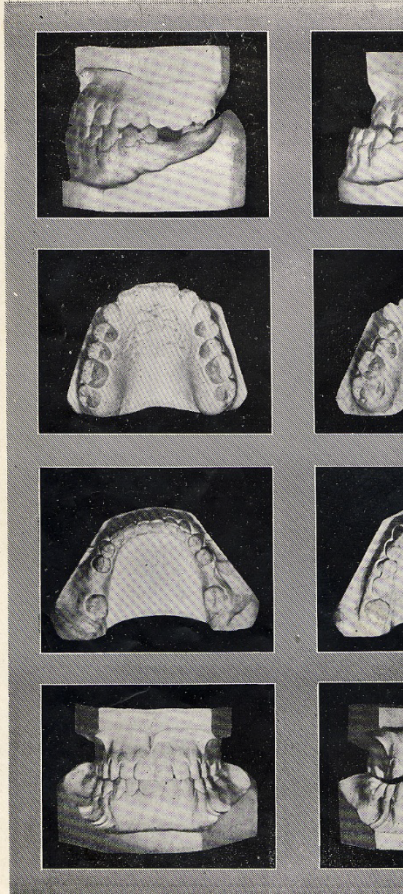
東京市本郷区丸山新町一六
電話小石川五三四番
振替東京二五三一二番

東京市本郷区丸山新町
(現在の東京都文京区白山)



* 2階にアンゲル学校と同じ矯正用デスクとチェアを設置した
個室診療。側の机の上にはアンゲル先生の写真が置いてある。
(WDCのスミソニアン博物館の展示と同様のスタイル)

日本における初期の矯正歯科治療



後 正 矯 前

行 發 日 三 月 四 年 八 和 昭 (行 設 回 四 年)

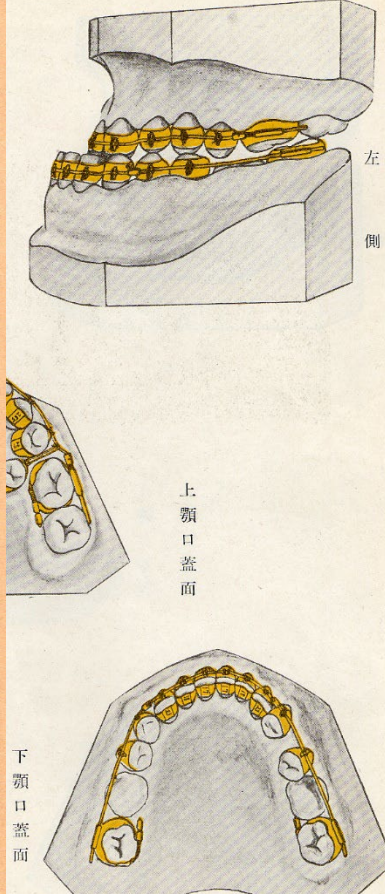
報 學 正 矯

第 一 號
次 目

- ▲松本式矯正装置に就て其應用經過成績
- ▲簡易石膏印像分離劑としてクレゾール石鹼液の應用法
- ▲松本式齒冠測計用ストリップに就て
- ▲矯正患者を扱ふには
- ▲アングル先生を語る
- ▲附録……(患者供覽説明用)

不正咬合の矯正治療前後寫眞
矯正装置圖解

所 究 研 科 齒 正 矯 本 松



左 側

上 顎 口 蓋 面

下 顎 口 蓋 面

昭和8年4月(1933年)に矯正学報第1号を創刊

整美会矯正歯科センター

昭和42年(1967年)

幸運と悲劇



←窓から見えた風景

高島屋

- * 昭和42年・新宿駅東中央口前に開設
- * 昭和43年・松本茂暉火災で急逝



オープニング・セレモニーには、立川、横田、座間、
ジョンソン基地からも多くのドクターが出席された。
(待合室にて)

